

すいとぴあ江南の今後についての座談会結果

◆ 実施の目的

市では、江南市公共施設再配置計画で定めたすいとぴあ江南の今後の方向性を令和8年度に決定することとしています。

方向性の決定において、北部地域が描くビジョンやその中ですいとぴあ江南が果たすべきミッションについて整理し、施設稼働状況など客観的な指標や公共施設更新問題を踏まえ、賑わいの拠点やシンボル等の必要な機能について、意見をお聞きし今後の方向性の検討に活用します。

◆ 開催日時及び参加者

日時	4月19日（土） 18：00～19：00
場所	草井地区学習等供用施設 2階 学習室
参加者	草井地区区長会（9名）

プログラム

- 1 はじめに（5分）
- 2 すいとぴあ江南の今後について（約10分）
- 3 座談会（約40分）
- 4 おわりに（5分）

座談会は、2つのグループに分かれて行いました。

◆ すいとぴあ江南の今後についての概要

すいとぴあ江南の今後について、すいとぴあ江南の維持費用や利用状況、今後の検討における市の考えなどを説明しました。

【今後の検討における市の考え】

○すいとぴあ江南の位置づけ

財源不足により全ての公共施設を現在と同規模で維持・更新することができない状況のため、行政関与の必要性が高い小中学校・保育園などを優先し、行政関与の必要性が低いすいとぴあ江南は維持・更新が難しい施設。

○すいとぴあ江南の将来像

近隣施設や遊歩道・サイクリングロードと連携し、木曽川の自然を楽しむ水と緑のネットワークを形成し、多くの人に親しまれる場所にしたい。



◆ 座談会

テーマ 「北部地域の将来の姿」

- 【キーワード】
- ・ すいとぴあ江南の将来
 - ・ 多くの人に親しまれる場所
 - ・ シンボル、賑わいの拠点

座談会のテーマ、キーワードを念頭においていただきながら、面積3haある「すいとぴあ江南」が今後どのような場所になるといいか、担う役割や機能についてご意見を伺いました。

○座談会の様子



○意見（抜粋）

○にぎわいの創出について

- ・ すいとぴあ江南とフラワーパーク間の散歩・ウォーキングの拠点として活用する。
- ・ JAと協力して農産物の販売を行う。 ・ 草井の渡し、ホタル、ランタンなどイベントを開催する。
- ・ 既存のグランドやサイクリングロードに全国大会など大きな大会を誘致する。

○シンボルについて

- ・ 現在の展望台が必ずしもシンボルではない。
- ・ にぎわいがシンボルになるのではないか。

○宿泊施設について

- ・ 江南市で唯一の宿泊施設なので必要である。 ・ 親戚や友人が来た際に宿泊している。
- ・ 宿泊施設は欲しいという思いはあるが、コストがかかっている施設なのでどうか。

○レストランについて

- ・ 大規模なものでもなくても、軽食やキッチンカーでもいいのではないか。

○その他

- ・ 防災拠点として整備すれば、国から補助金が出るのではないか。
- ・ 多目的ホールは、地元の人は同窓会などの大人数が集まる際に使用している。
- ・ タワーは一宮に、花はフラワーパークに、テニスは蘇南公園に負けていて、すいとぴあ江南にあるものは中途半端。北部にはこれだっというようなものが欲しい。

◆ まとめ

2つのグループに分かれて、意見をうかがいましたが、両グループともすいとびあ江南のかつての賑わいが失われていることへの懸念があり、今後についてはサイクリングロードや桜の名所といった地域資源を活かしたイベントの開催や地元農家との連携による物産販売などによる、すいとびあ江南の持つポテンシャルを最大限に活用する意見が多く、すいとびあ江南の将来を考える上で、とても参考になる意見ばかりでした。

今後の検討におきましても、すいとびあ江南を含む北部地域全体の将来像を「多くの人に親しまれる場所」「江南市のシンボル」「賑わいの拠点」といったキーワードを念頭に置きつつ、財政面や地域のニーズなども総合的に勘案し、持続可能な形で地域の魅力を高められるよう、市民の皆さんの意見をうかがいながら検討を進めていきたいと考えています。